

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名

消防団戦力状況把握及び消防団事務改善事業

自治体名

岩手県雫石町

消防団名

雫石町消防団

1 事業の目的・必要性

【目的】

消防団員管理システムを導入することで、団員個々の出動状況の確認と、分団ごと及び曜日時間帯ごとの戦力状況を把握し消防団再編計画の検討をすることを目的とします。

処遇改善により個人払いとなった団員報酬の支払事務を補助することを目的とします。

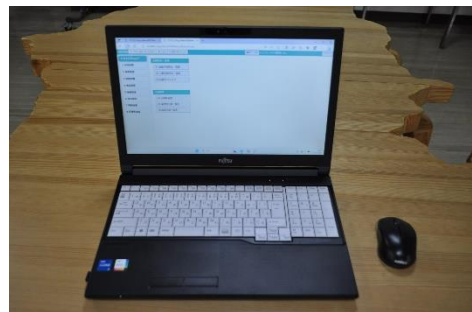
【必要性】

年々減少する消防団員の戦力状況を把握することで、団組織の再編検討や戦力均衡のための計画を立てることが必要です。

これまで団に一括で支払っていた報酬を個人払いにしたことで、業務量が煩雑化しヒューマンエラーによるミスを軽減するためにもシステムの導入は必要です。

2 事業内容

消防団システムを導入することで、出動状況の確認、戦力分布状況の把握、団員報酬の支払事務を円滑化を図ります。



3 事業成果

消防団の現有戦力状況調査及び消防団員へアンケート調査を行い、平日日中の現有戦力について、明確化するとともに、消防団の抱える課題を消防団員全体と共有することで当町の消防団再編への必要性を消防団員も認識することができました。

また、消防団員情報管理システムを導入し、処遇改善により、報酬を団員個人へ支払う事務の改善に役立てることができました。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
検討会	回数	5	2	
説明会	回数	10	5	
新入団員	人	5	8	

5 その他参考情報